


経営学部



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY



2016
Ryukoku
University
Faculty of
Business
Administration



You, Practitioner

Challenge Story

経営学部チャレンジストーリー

学生たちがチャレンジして成長していく物語。

龍谷大学生は、秘めた情熱を持っている。

彼らは勇気をもって、新しい世界に飛び込んでいった。

失敗することもある、挫折することもあるだろう。

でも、自分を信じて、周りの人に支えられて乗り越えていく。

チャレンジすることで、自分の可能性が無限に広がるのだ——。

半年間向き合った京の水カフェは、
メンバーそれぞれの学びの現場。

01 「京の水カフェ」運営に
チャレンジ

床田 麻衣果さん

経営学科 3年生 大阪府立北千里高校 出身

若山 英里香さん

経営学科 3年生 大阪市立高校 出身

京都市上下水道局のキャンペーン事業、「京の水カフェ」の運営に藤岡ゼミのメンバーとして参加し、それぞれ広報、内装を担当。この活動は未来の京都まちづくり推進表彰を受けた。



若山 英里香さん



頭で考え、実行し、オープン準備を進めていく。 時には予想外のアクシデントも。

2014年、夏。祇園祭でにぎわう京都の街中に、約2週間限定のカフェがオープンした。その名は「京(みやこ)の水カフェ」。そこで働くおそろいのポロシャツとエプロンを身につけたスタッフは全員、龍谷大学生。経営学部の藤岡章子教授のゼミ生たちだ。

「講義の時、藤岡先生に『みんなでカフェをやらない?』と尋ねられたんです。わたしたちはカフェの楽しそうなイメージが一番に頭に浮かんで、やろう、やろうって、即答しました」と床田麻衣果さん。床田さんは商品企画や開発に興味があり、藤岡ゼミに所属。「まさか後々大変なことになるとは、その時は思わなかったよね」と笑うのは、若山英里香さん。若山さんはマーケティングを学ぶべく、同ゼミに入ったという。

京の水カフェとは、京都の水道水のおいしさと質の高さを伝えるために、京都市上下水道局が展開しているキャン

ペーンの一つで、2013年にスタート。2014年は水道局からの連携事業の呼びかけに龍谷大学が賛同して、はじめての共同運営が実現した。

7月のカフェオープンに向けて、準備は1月から始まった。水道局担当者からの推薦で広報班になった床田さんは、記者クラブでの記者レクチャー、テレビや新聞の取材対応等に全力で対応した。なかでも水道局に向けた最終報告会の準備では、食材班や備品班など他の担当班との連携がうまくとれないことで、資料作成に予定以上に時間を費やした。また同時期に、所属するサークルの引退イベントの運営にも携わっていたため、睡眠時間が確保できず、パソコンの前で眠ってしまうような時もあったという。そんな状況下で作成した報告会用資料だったが、そこに記載したカフェ開催地の住所が間違っているという、痛恨のミスが発覚。「広報として情報発信者の責

任の大きさを痛感しました。そして正確な情報を発信するためには、入念な準備が必要だということをも身を持って学びました」と床田さんは振り返る。

かたや若山さんはユニフォームのデザインや素材選びにかかわり、その後、内装班に加入。「限られた予算のなかで、“水”“自然”というカフェのコンセプトをどう表現するかに頭を悩ませました」。予算を削って手づくりの装飾を増やすと、学祭の模擬店と同様になってしまう。街中にある一般の店に見劣りしない内装にするために、さまざまなジャンルの商店を見て回り、広い視点から内装のアイデアを探したという。「それでも、ようやく出来上がった内装をアドバイザー役であるイベント会社の担当者に否定されてしまった。本当にショックでした」と若山さん。社会人からの客観的な意見を浴びたものの、しかし若山さんはくじけなかった。「どうしてこの内装なのか、明確に意図を説明



床田 麻衣果さん

全力を注いだ後に抱く達成感と、 新たな目標。

することで納得してもらえました」。ただ漠然と魅力ある内装を目指すのではなく、コンセプトを定めてアイデアを練ったことが本人の自信になり、相手にも伝わったのだろう。

こうして各自が試行錯誤しつつ準備をすすめるなか、オープンの数週間前に新たな問題が生まれた。実際の営業を想定して接客のシミュレーションを行おうとしたところ、何をどうしてよいかわからない学生が多数いたのだ。「よし、サービスマニュアルを作ろう」。藤岡先生の一言で、飲食店でのアルバイト経験のある床田さん、若山さんを含む3名で、急遽、マニュアル班が結成された。お客さんを迎えた時の第一声から混雑時の対処法まで、接客のマニュアルを作成し、他のメンバーをリードしながら接客の練習を重ねた。もともとの仕事と兼任しながら、必要とされる役割を誠実に果たしていった。

こうして遂にオープンした京の水カ

フェ。京都市の水道水を使ったドリンクメニューは話題を呼び、期間中約3300人が来店。無事閉店を迎えた。「半年間ずっと準備をしてきたので、終わりがあることが信じられませんでした」と二人は声をそろえる。それだけ、カフェ運営の準備に没頭してきたということだろう。

「半年かけた活動の間には、自分のやる気にどうしてもムラが出ました。その体験から、モチベーションや時間のマネジメントについてもっと学びたいと感じました」と若山さん。「講義で学んだ組織行動のマネジメントや意思決定論について、より深く理解していればカフェ運営にも活かせたのではないかと、後になって気づくこともありました」と床田さん。

京の水カフェという実践的な学びを経験したことは、二人にとって経営学の重要性を再確認するとともに、学修への意欲を高め、具体的なテーマを見つける好機にもなったことは確かだ。

You, Practitioner

ゼミ活動

経営学部では、学生の興味や関心に基づいた専門分野を学べる少人数ゼミを設置。「実社会から学ぶこと」をテーマに、企業等多彩な経営の現場に触れながら実践的な学修ができる。

You, Manager

ひとつの現場を知ると、もっと深く学びたくなる。

高校時代に野球部のマネージャーを務めた経験から、スポーツプレイヤーを支える方法を学びたいと考えようになった澤奈央実さん。大学進学ではスポーツはもちろん、それに偏らない幅広い知識を身につけられる龍谷大学経営学部を志望。経営学と同時に自分の興味ある分野について学ぶ、学部共通コースのスポーツサイエンスコースにすすんだ。1年生の時には簿記入門の受講を機に、簿記検定3級の資格を取得。「簿記資格を取ろうと思ったのも、経営学部に入ったからこそ。スポーツマネジメント専門の学部なら、決して取得することはなかったでしょう」と、学部共通コースでの学びの意義を振り返る。

2年生からは、スポーツマネジメントを学ぶ松永敬子教授のゼミに所属。毎年、長野県阿智村のスポーツ推進を図る合宿に参加し、子どもたちに馴染みの少ないキンボールやラグビー等を教えた。初年はただ先輩についていただけ。翌年はリーダーを務めたが、プログラムを進行するのに精一杯。4年生になってようやく、イベント全体に目を向ける余裕が生まれたという。「わたしたちが運営を担当していたのは、子どもたちがスポーツ競技をはじめの前に行うアップ等の時間でしたが、これからはイベント全体の運営にかかわりたいと考えるようになりました」。3年間の経験を重ね、取り組みへの積極性が育った。

同様に松永ゼミでは例年、3年生が念珠等、京都の伝統工芸にちなんだグッズを製作し、京都マラソンの会場

で販売。その売り上げを東日本大震災で被災した子どもを支援する、スポーツこころのプロジェクトに寄付している。これに先立ち澤さんは「現地を知ること大切」と、アスリートが東北地方の小学校を訪ねて講演やスポーツ指導を行う現地での活動に自主的に参加。「普段は遊ぶ場所や設備のない子どもたちが、熱心にスポーツを楽しむ姿に力もらいました」。少しでも彼らのためになることをしたいと、思いを新たにしました。

また、ゼミに加えてサークルでは野外活動部に所属し、毎月、小学生と一緒にキャンプを開催している。上級生になると役割も増え、責任も伴ってくる。そのせいで活動を義務のように感じてしまう時期もあったという。そんな状況を脱するため、「参加する小学生だけでなく、運営する自分やほかの部員も楽しんで活動するにはどうしたらよいか意識するようになりました」。部の概要や備品の使い方を後輩に教える学習会をゲーム・クイズ方式にしたり、部員一人ひとりのことを互いに知るためにトークショーを開催したり。澤さんはアイデアを練り、実行し、サー

クル活動に変革をもたらした。

ゼミやサークルの活動を通して参加者にどう満足してもらうかを考えてきた澤さんは、さらに経験を積むため、視線を世界にも広げた。「スポーツビジネスの先進都市で、ファンを喜ばせる仕組みを学びたい」と、4年生の9月に1週間、ニューヨークスポーツビジネスツアーに個人で参加。スタジアムやスポーツチャンネルの放送局の視察等を通じて、成熟したアメリカのスポーツビジネスを体感した。

一方、「スポーツ以外のことに目を向けるチャンス」と、澤さんは京都市事務事業評価サポーター制度にも参加。「普段意識することの少ない市政にかかわれたことは貴重。さまざまな経験をもとにした広い視野を持ちたい」と、語る。

4年の間、澤さんはスポーツマネジメントについて学ぶチャンスを実践にとらえ、そこから得た経験を自ら新たな興味や学修意欲につなげてきた。そのエネルギーは途絶えることなく、卒業後はアウトドアブランドへの就職が内定。スポーツの魅力を広めている楽しそうな澤さんの姿を、これから先も見ることができそうだ。



長野県阿智村にてキンボールの指導。



ヤンキースタジアムでニューヨークタイムズの記者から説明を受ける。

自らが楽しみながら、
スポーツにかかわる人を支える。

02 スポーツマネジメントに
チャレンジ

澤 奈央実さん

経営学科 4 年生 滋賀県立石山高校 出身

スポーツマネジメントを柱に広い知識を身につけるため、学部共通のスポーツサイエンスコースを選択。ゼミ活動では過疎の村や東北地方のスポーツ振興の支援等を経験しながら、研鑽を積んだ。

スポーツサイエンスコース

経営・経済・法・政策学部の学生を対象に、学部の枠を超えて自身の関心や将来の目標に沿った講義を受講できる学部共通コースの1つ。スポーツを総合的、かつ科学的に学修する。

You, Presenter

発言するだけでない、聴く力の大切さを知った。

「大学受験を経験したことで、努力の結果、味わえる達成感を知りました」と語る珠玖拓実さん。入学後もそんな達成感を得られる取り組みをしたいと考えた珠玖さんが、まず参加したのが「プレゼン龍^{ドラゴン}」学生実行委員会だった。「先輩たちの気迫のこもったミーティングを見学して、わたしも一緒に何かをつくり上げたいと感じました」。プレゼン龍学生実行委員会の活動は主に、毎年12月に開催されるビジネスプランコンテストの企画・運営である。「どうやって参加者や観客を集めるか等を決めるため常に会議が開かれますが、さまざまな意見をまとめて結論を出す作業は本当に難しいですね」と珠玖さん。それでも、発表会で参加者が素晴らしいプランを紹介しているのを目にすると、その場を用意できた自分たちを誇らしく思い、苦労が報われたと感じられるという。

また、2年生の夏に参加した5週間のBIEプログラム留学も貴重な経験になった。これは龍谷大学の教育・研究の海外拠点として開設したRUBeC (Ryukoku University Berkeley Center)を活用した、龍谷大学独自の留学プログラムだ。「現地で共に講義を受けた米国仏教大学院の学生たちは、強い自主性を持って学修に臨んでいた。その姿勢に刺激を受けました」。自分の成長のためには与えら

れたことではなく、自分からやりたいと思えることをしよう。そう心に決め、珠玖さんは留学を終えた。

帰国後は、金融をテーマに扱う三谷進教授のゼミを選択。「三谷ゼミは例年、学外の論文・プレゼンテーション大会に積極的に出場しています。それらの取り組みを通して、自分の能力を鍛えたいと考えました」。なかでも目玉となるのは、経営学を学ぶ関西の大学のゼミが日頃の学修の成果を発表する、ゼミ研究発表会関西ブロック大会。そして、全国の加盟大学が参加し、証券に関する問題の研究発表を行う、証券ゼミナール大会だ。証券ゼミナール大会に関しては、珠玖さんは運営組織の関西支部長も務めている。大会出場に向けて、ゼミ内でチームが組まれた。「集まったメンバーはわたしを含め、ゼミのなかでも特に主張の強い3人。論文の内容について意見がまとまらず、2時間も議論を戦わすこともありました」。そうして互いに妥協することなく、よりよい内容を求めた結果、チームは両大会で優勝という最高評価を得ることができた。さらに、「プレゼン龍」運営委員という立場から手本となる優秀なプレゼンテーションを多く見ていたことも、チームの優勝に貢献したのではないかと珠玖さんは振り返る。

「大会を運営し、また出場するという活

動を通し、わたしに身についたのは人の話を聴く力だと思います。もともと、人前で話すことは得意でした。しかし自分の意見を主張するだけでは、人に伝えることができない。人の意見を受け入れたうえで、さまざまな方向から考え、発言することの大切さを知りました」。

こうして社会人や海外、他大学の学生らと出会い、対話を重ねてきた経験から、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力に自信をつけた珠玖さん。将来は「得意の“話す力”を金融業界等で活かしたい」と語る。そしてこれから入学する後輩には、「何かに挑戦する過程のなかで、自分と気の合う仲間だけでなく、自分と異なる考えを持つ人や、年齢・出身の区別なく多くの人と会話を交わしてください。そうすることで、自分の常識や領域はぐっと広がるはず」とメッセージを送る。その言葉には強い説得力がみなぎっている。



証券ゼミナール大会で優秀賞に選ばれた三谷ゼミのみなさん。

対話力の高さが導いた、
プレゼンテーション大会での優勝。

03 プレゼンテーション大会に
チャレンジ

珠玖 拓実さん

経営学科 3年生 滋賀県 光泉高校 出身

ドラゴン
「プレゼン龍」学生実行委員会や証券研究学生連盟に参加。経営学に関する研究発表会の運営に携わりながら、自身も発表会に出場し、プレゼンテーション能力の向上に力を注ぐ。

ドラゴン
「プレゼン龍」学生実行委員会

ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍」の企画・運営のほか、応用力や実践力を備えた学生の育成を目的としたイベントの開催、起業を目指す学生の支援活動等を行う。

Q. 経営学部の学びの特長は？

A. 自分の関心・進路に応じて、実践的に、現場で学べるのがポイントです。

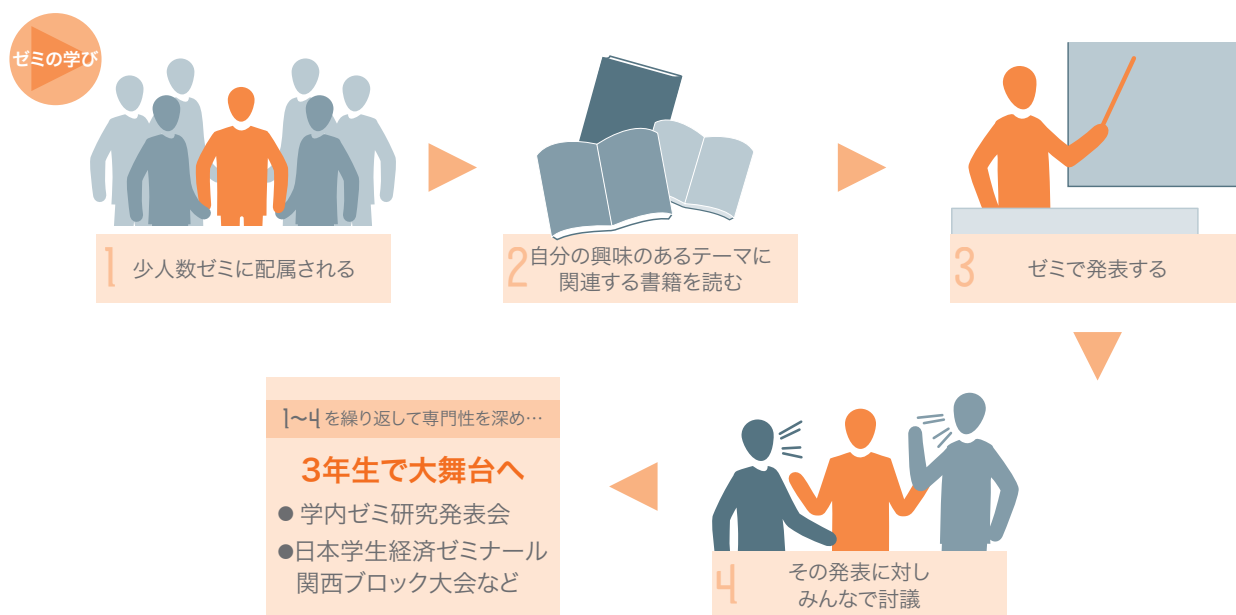
■自分の関心・進路に応じて 3つのコースに分かれて学ぶ

2年生後期から自分の進路に合わせてコースを選択します。学部内コースとして「経営コース」、「会計コース」の2コース、経済・経営・法・政策の4学部で構成される学部共通コースとして4つのコースを用意しています。



■実践的に学ぶ —ゼミ活動

1年生からゼミ(演習)を開講することで密度の濃い学びを実践。4年間で基礎から専門的な分野までをフォローし、学修や研究に必要な基礎的知識、課題発見能力、課題解決能力、文章表現能力、口頭発表能力を養います。



1年生前期

フレッシューズゼミ

フレッシューズゼミを開講し、1年生は全員履修します。高校までの学修と違い、大学では主体的な学修姿勢が求められるため、自分で調べる、まとめる、発表するといった学修姿勢を身につけます。

1年生後期～2年生前期

基礎演習

基礎演習を開講しています。ここでは学生それぞれの興味に従って学修するテーマを選定します。そしてその学修に必要な意識や課題発見能力、課題解決能力、文章表現能力、口頭発表能力等を培い、具体的な学びの下地をつくります。

2年生後期～4年生後期

演習

演習を開講しています。基礎演習からの発展で、この間一貫したゼミにおいて専門性を高めます。最終的にはこれまでに培ってきたスキルを活かし、自ら選定したテーマに基づいた演習論文を作成することで、4年間の学修成果を示します。また、経営学部ゼミナール連合会が主催する「学内ゼミ研究発表会」においては、参加ゼミが研究内容を発表し合い、成果を競うとともに、上級生が下級生に発表する姿を見せることで刺激を与える場となっています。

基礎的

専門的

■現場で学ぶ —プログラム科目

経営学部ではビジネスの現場で学ぶ実習教育を重視。4つのプログラム科目を用意しています。基礎教育や理論教育で学修したことを基に、実際の現場で今後の学修課題を発見することで実践的な経営学の理解を目指します。

ものづくりの現場

工場見学を通じて、生産現場で起こっている課題を検討します。



地域と企業

企業経営において、地域企業が直面する経営課題を実践的に検討します。



現代中国のビジネス

中国の大連へ行き、現地の学生とともに講義やディスカッション、企業見学等を行います。現地研修を通じて海外進出企業や現地企業の経営上の課題を検討します。



起業論

ビジネスの現場で活躍する方をゲストスピーカーとして招へいし、企業の成長戦略を学ぶとともに、販路拡大やマーケティング戦略、新たな事業戦略等を学生自ら考案します。



Q. 経営学部でどんな力が身につきますか？

A. ビジネスの現場と直結した学修でビジネスセンスが磨かれます。

経営学部の各科目は、ビジネスの現場と直結しているものがたくさんあります。たとえば、仕事に対するやる気を高く保つための仕組みや、大人数で協同作業するための組織理論、中長期的な会社の方向性を考える戦略論等は、社会人になってから会社内の研修で行われる内容とまったく同一か、それよりも高水準であることがほとんどです。そして何よりも、同じ関心の仲間と囲まれて切磋琢磨できれば、必ずみなさんのビジネスセンスは磨かれることでしょう。



- 現代企業の特徴を理解することができる。
- 自分の考えを伝え、議論することができる。
(プレゼンテーション能力、ディスカッション能力)
- 課題の本質をとらえ、問題解決を図るための知識を身につけることができる。
(課題発見能力、課題解決能力)

就職後にも活かせる力が身につきます！

4年間のプロセス

基礎をしっかり身につけて、学びたいことを自由に学べる。

1

1 年生

基礎をしっかり身につける

2

2 年生

自分にぴったりのコースを選択

■ **基礎科目** 経営学や会計学の基礎となる科目を学修し、どの分野に自分の興味があるのを見つけてみます。

■ **専攻科目** 経営学・会計学をより専門的に学修します。

■ **基礎演習** 2年生の後期からはじまる「演習」のための基礎知識を学びます。

フレッシュャーズゼミ

1クラスは約20名。レポートの書き方、ディスカッションやプレゼンテーションの方法等、大学生としての基本をマスターします。クラス制で楽しいイベントも多いため、ここで友人もできます。





自分の進路に合わせてコースを選択(2年生後期)

経営コース

組織をリードするモデル
会社・NPO・NGOでリーダーを目指す

市場と情報を活用するモデル
経営戦略や起業を目指す

世界へ羽ばたくモデル
実際に海外へ行き、世界で活躍する国際人へ

例：経営コース(市場と情報を活用するモデル)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	流通システム論	経営データの分析B		商品学	人的資源管理論
2	ロジスティクス		演習	現代社会と企業	経営立地論
3	経済原論	マーケティング論		国際経営論	
4	英語B			英語IID	
5					



岡 勇樹さん
経営学科 2年生
(大阪府立山田高校 出身)

会計コース

会計コース
公認会計士や税理士、財務・経理担当者をめざす

例：会計コース

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	ファイナンス理論	原価計算論		ファイナンス理論	
2	財務管理論	上級商業簿記	演習		現代金融論
3	企業倫理論	企業統治論		初級商業簿記	財務会計論
4	英語IIB			英語IID	
5					



東丸 慎太郎さん
経営学科 3年生
(徳島県立徳島商業高校 出身)

学部共通コース

国際関係コース

英語コミュニケーションコース

スポーツサイエンスコース

環境サイエンスコース

例：英語コミュニケーションコース

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			WritingII		米国文化II
2	Communicative Grammar II	Oral Communication IIA	Business Writing	企業の国際化	Oral Communication IIA
3		マーケティングの基礎			Critical Essay
4		Oral Communication IIB			Oral Communication IIB
5					



村上 楓さん
経営学科 4年生
(大阪府立花園高校 出身)

3 年生

社会を見る目を
じっくり鍛える

4 年生

これまでの経験を
卒業論文にまとめる

■ **プログラム科目** ビジネスの現場で学ぶ実習教育です。さまざまな企業経営の現場に出向き、今後の学修の課題を見つけます。

■ **演習** 経営学を幅広く学んでから、自分の関心のある研究テーマに取り組んでいるゼミを選択します。2年間かけて、グループワークやプレゼンテーション、合宿等で学びを深めます。

経営の創造性に惹かれてこのコースを選びました。

経営コースを選んだのは、経営の面白さに気づいたからです。それは「経営には明確な答えがない」ということ。つまり「独自の答えを導き出す」必要があり、そのクリエイティブなところに惹かれました。ゼミでは、興味のある業界や企業について研究しています。わたしは予備校

について研究しており、実際にアポイントを取り、インタビュー調査を行いました。研究発表では、人に伝えることの難しさを実感しました。経営コースでの学びを活かして、将来はコンサルタントのような「人に伝え説得する」仕事に就きたいと考えています。



会計の論理的思考や数字を読み解く力は、どんな道に進もうと活かすことができます。

わたしが会計コースを選択したのは、将来商業科の教員として、根幹である簿記の授業において質の高い教育ができるように会計の知識を深めたいと思ったからです。また、実社会における企業会計のリアルで高度な会計知識を修得したいとも考えました。

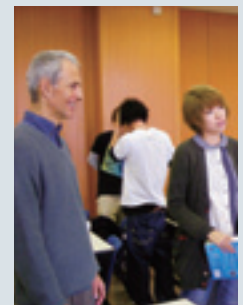
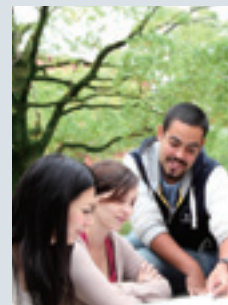
授業では、信頼できる先生方のもとで財務諸表から導き出される数字をもとに正確な企業分析ができるよう学修を深めています。どのような道に進もうと、会計コースで学んだ会計の論理的思考や数字を読み解く力は活かすことができると思います。



コミュニケーションを通じて英語を学び、異文化理解が深まり、視野が広がりました。

英語コミュニケーションコースは、日本にいな

い、このコースを選択しました。英語の基本的なスキルアップはもちろん、ゼミでは海外の学生とビデオチャットを使ってディスカッションをしました。異文化理解が深まり、国際的な視野が広がるとともに、日本を客観的に見る視点も得られました。



経営学科

Department of Business Administration

広範なテーマに関して多彩なアプローチを段階的に学修。
企業経営の実践を担う人材や、公認会計士・税理士を育てます。

Q. 学びのポイントは？

- A.**
- 身近にある「生きた教材」を“なぜ”の視点で考える。
 - 少人数制のゼミで学びたい専門分野を自由に学ぶ。
 - コース・履修モデルを参考に自らの学修目標を定める。
 - 生きた企業の現場に身を置く、実践的に学ぶ機会が豊富。

CURRICULUM

1年生		2年生		3年生		4年生	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
<p>現代のビジネス、現代の企業会計、経営と情報、簿記入門、情報リテラシー、現代社会と企業、経営とコンピュータ利用、企業経営の管理、日本と世界の経済、初級商業簿記、統計学</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現代のビジネス (必修科目) 事例をもとに企業経営の実態を学びます。 ● 簿記入門 (必修科目) 必要な簿記の知識と技術を学びます。 ● 経営と情報 (必修科目) 企業の情報化に関する基礎知識を学びます。 ● 現代の企業会計 (必修科目) 企業会計の基礎的な事柄について理解します。 ● 情報リテラシー (必修科目) 大学生活において必要なパソコンスキルを習得します。 		<p>現代企業の成り立ち、マーケティングの基礎、経営戦略論、マーケティング論、人的資源管理論、商品開発論、財務会計論、中級商業簿記、現代金融論、証券市場論、経営情報システム論、プログラミングおよび実習A、経営学特別講義、実践講座 等</p>		<p>● プログラム科目</p>		<p>● プログラム科目</p>	
		<p>4セメスターから自分の進路に合わせてコースを選択</p> <p>経営コース あらゆる組織を担う中核的な人になる</p> <p>会計コース 公認会計士・税理士、企業の財務・経理担当者になる</p>		<p>会社・NPO・NGOでリーダーを目指す 組織をリードするモデル 経営管理論、人的資源管理論、組織行動論、経営組織論、企業倫理論、経営史、公共経営論、経営情報システム論、経営学原理、経営意思決定論、管理会計論、企業統治論、オペレーションズ・マネジメント、産業技術論、経営革新論、環境経営論 等</p>		<p>経営戦略や起業を目指す 市場と情報を活用するモデル 経営戦略論、マーケティング論、マーケティング・リサーチ、商品学、商品開発論、経営立地論、企業倫理論、経済原論、現代銀行論、証券市場論、流通システム論、ロジスティクス、起業論、経営情報活用論、経営データの分析、情報産業論 等</p>	
				<p>実際に海外へ行き、世界で活躍する国際人へ 世界へ羽ばたくモデル 国際経営論、国際経営戦略論、アジア企業経営論、株式会社論、企業倫理論、国際比較経営史、国際流通論、中国ビジネス論、現代金融論、国際金融論、日本経営史、日本経済論、多国籍企業論、国際比較社会学、国際比較経営論、中国经济論 等</p>		<p>公認会計士や税理士、財務・経理担当者を目指す 会計コース 財務会計入門、財務会計論、原価計算論、管理会計論、国際会計論、会計監査論、キャッシュフロー会計論、連結会計論、会計情報読解論、財務管理論、中級商業簿記、上級商業簿記、工業簿記、所得税法、法人税法、企業倫理論 等</p>	
				<p>学部共通コース (国際関係コース、英語コミュニケーションコース、スポーツサイエンスコース、環境サイエンスコース) <small>詳しくはアンサーブック p.67~p.70へ</small></p>			
● フレッシュヤーズゼミ		● 基礎演習				● 演習	

- ▶ 取得可能な免許・資格
 - 中学校教諭一種免許状 (社会)
 - 高等学校教諭一種免許状 (地理歴史、公民、商業)
 - 図書館司書
 - 学校図書館司書教諭
 - 本願寺派教師資格
- ▶ 目指す職業・進路
 - 企業 (商社、金融、情報、航空・旅行、介護・福祉等)
 - 起業家、公認会計士、税理士、ファイナンシャル・プランナー
 - 公務員 (国際・国家・地方)、NPO / NGO
 - 教員 (中学校、高等学校)、司書教諭

マーケティング論

好奇心をかき立てるテーマがいっぱい！
マーケティングの観点から紐解いてみよう。

マーケティング論は、念願の経営学部に入學したわたしにとって、最も興味のある講義でした。この講義では、生活とマーケティングのかかわりを実感しながら、マーケティングの理論や仕組みを理解していきます。産業のサービス化やサービス産業の成長により、サービス・マーケティングが今後ますます重要になることを実感。ハローキティの成功事例によるキャラクターブランドの戦略は特に面白く、マーケティング論には好奇心をかき立てるテーマがたくさんあります。自分の好きなブランドを思い浮かべて講義を受けてみましょう。なぜそのブランドが好きなのか、マーケティングの観点から紐解くことができます。ぜひ楽しんで受講してください。



赤崎 すおみさん
経営学科 4 年生
(滋賀県立大津高校 出身)



尾添 あかりさん
経営学科 2 年生
(兵庫県 神戸龍谷高校 出身)

経営管理論

経営管理の理論は、
会社の経営だけでなく、
グループワークにも活かせる。

「マネジメント」という言葉に関心があって経営学部に入學しましたが、具体的にマネジメントが意味するところを知らなかったので、入門科目である経営管理論を受講しました。講義では企業とは何かという説明にはじまり、経営資源や経営過程、企業内の役割・構成を学修。その後、テイラー、メイヨー、バーナードの3つの学説の意味や成果について学びました。坂本先生からは「大学で学ぶ意味はゼミにある」と教わりました。ゼミでは蓄積した知識を活用する能力を磨きますが、これはまさにマネジメント能力といえます。あらゆるグループワークに適應できる管理論をぜひ学んでほしいと思います。



山本 陵太さん
経営学科 4 年生
(大阪府立摂津高校 出身)

初級商業簿記

経営に欠かせない
会計の基本として、
学ぶ価値があります。

経営学を学ぶうちに、経営には「ヒト・モノ・カネ」という3つの要素があり、ヒト・モノを動かすにはカネが必要であることを知りました。そのカネの流れ、つまり会計に興味を湧き、会計の基本となる簿記を学びたいと思いました。簿記は、会計処理する方法をただ機械的に覚えていくというイメージでしたが、なぜそのような処理をするのか理由まで知ることができたのは良かったです。会計や簿記を学ぶことは就職でも活かせるので、経営学部に入ったら、ぜひ初級商業簿記を履修してほしいと思います。

主な
講義

- 現代社会と企業
- 経営とコンピュータ利用
- 企業経営の管理
- 日本と世界の経済
- 初級商業簿記
- 現代企業の成り立ち
- 組織行動論
- アジア企業経営論
- 経営戦略論
- 商品開発論
- 国際比較経営史
- 地域企業論
- 経営情報活用論
- 経営革新論
- 会計監査論
- 現代金融論
- マーケティングの基礎



学生主導型テーマ設定による個人研究ゼミ 全学年で取り組む、切磋琢磨

—— 秋庭ゼミ

秋庭ゼミの特徴は「ゼミのテーマが無い」ことです。あえて言うならば社会と企業を理解するための「方法を学ぶ」ことがテーマです。専門書を読んで理解して終わりならば大学は必要ありません。秋庭ゼミにおける学習の基本は、課題の発見、関連情報の収集、仮説構築、検証、資料作成と報告の一連の流れを「一人で全部こなせる」ことです。一人一人が単なる組織の部品では無く、経営学的な視点で考えられる自立した人材であることを最も重要な人材育成の目標としています。

この目標を達成するために秋庭ゼミはいくつかの独自の仕組みを持っています。第一に2008年頃からのゼミ生のプレゼンテーションや報告資料は全て独自サーバーに公開されており、ゼミ生ならば24時間365日いつでも独習が可能です。また、通常は学年別に開講されるゼミの時間を3コマ連続で確保し、1-3年生は同じ空間でプレゼン・議論できるように配慮しています。時には3年生を上回るプレゼンを1年生が行うこともあり、まさに切磋琢磨が発生する環境となっています。

以上のような基礎的な学修を土台に希望者によって取り込まれるのがプロジェクト学習です。昨年は大塚製薬さんやレッドブルさんにご協力いただいてプロジェクト学習に取り組んでできました。ここではチームでの協働を体験することになります。

自立した個人能力を基礎に社会とかかわることで、学生の興味関心を喚起し、さらに深い学修につなげることができる環境づくりを目指したいと考えています。



秋庭 太 准教授

ゼミ

- 社会科学的方法に基づく研究行動
-フィールドワーク・学外コンテスト-
- 証券市場における会計情報の役割について
- 企業の経営革新と経営品質
- 経営・会計のイノベーション研究
- ポジションペーパーを書いて議論し、
問題解決能力を育成する
- 企業の立地と地域の魅力を考える
- ビジネスでのコンピュータ活用
- ガバナンス学説を活用して
「社会人基礎力」を獲得する
- 関係性をいかにマネジメントするか
- 財務諸表を理解し分析してみよう
- 社会問題に実証的にアプローチする
- 小売業・サービス業における顧客満足
- 国際経営戦略を考える
- ICT(情報通信技術)の利用による人・組織の変化
- 人的資源管理論の基礎
- イノベーション(≒企業が関わるあらゆる創造)って何だ？
その捉え方を学び、そして実際を知る。
- 「データによって説得する力をつける」「企画力ある人に育つ」
- 財務会計の根本理論を理解する
- グローバリゼーションと経営学
- 現代企業のマーケティングと場の創造
- 職業会計人になるための専門的な能力の習得をめざす
- 企業家活動にみる経営発展と経営戦略
- 京都企業・協同組合・農業経営・学校法人(大学設置法人)
-多様な組織の経営を学ぶ
- 現代金融の諸課題の分析
- 国際化時代における商品
- 企業の価格戦略を学ぶ



財務会計

財務会計を論理的に把握する。

—— 濱田ゼミ

濱田 崇嘉 准教授

財務会計は、資産会計、負債会計、資本会計、損益会計等、さまざまな領域によって構成されています。ただ、一見バラバラに見えるこれらの領域は、実は根底にある考え方によって結びついていることが多いのです。この結びつきがわかると会計全体が把握しやすくなり、何より会計が面白くなってきます。「なぜ、このような会計処理をするのか?」という疑問に、論理的に答えられるようになること、これがこのゼミの目標です。具体的には、財務会計の主要トピックをテーマとして、グループ研究をすすめます。研究活動を通じて、情報収集し、それを整理・分析し、問題点を把握して解決策を考えると一連の方法を体得してもらいます。また、グループ活動を通じて、メンバーとして組織に貢献する経験や、リーダーとして組織をマネジメントする経験をたくさん積んでもらいます。



小売業のサービス業における顧客満足

「顧客満足度」の調査を通し、 企業を助けるスキルを修得。

—— 寺島ゼミ

寺島 和夫 教授

ゼミのテーマは、小売業やサービス業における「顧客満足度」です。まずは、顧客満足をどのようにとらえるか、影響をおよぼす要因には何があるか、それらをどのように測定するのか等の知識を修得。次に、データを集め、統計を取り、分析する技術を学びます。そして学究のなかで得られた結果を改善に役立てていく能力も鍛えていきます。実際にゼミの授業のなかで深草キャンパスの生協の顧客満足度を調査し、問題点を改善して売り上げアップに貢献しました。グループで作業するためゼミ生の結束力も固く、学生たちの交流も盛んです。

ICTの利用による人・組織の変化

データを使いこなせる人になろう!

—— 西岡ゼミ

西岡 久充 准教授

わたしたちは現在、スマートフォン、パーソナルコンピュータ、インターネット等、さまざまなICT(情報通信技術)に囲まれて生活しています。仕事をすすめるうえでも、たとえばコラボレーションのためにICTが使用されています。ゼミではチーム活動を基本に、それを支援するグループウェアを用いながら、ICT利用によって人や組織に生じた変化、効果について学びます。卒業論文ではアンケート調査等から得られたデータを分析し、統計的な処理をして結論を出すことをテーマとしています。データは人を説得することができます。西岡ゼミではICTの利活用とデータを使いこなせる人材の育成を目指します。

主な
卒業論文
テーマ

- ソーシャルメディア時代の企業のオリジナルキャラクター戦略
- コンビニのコーヒービジネス参入に伴う市場競争構造の変容
- 繰延税金資産の資産性に関する一考察
- 企業会計における損益計算の変転

- 中小企業のアジアにおける人材育成
- 世界のファストファッション企業の経営戦略と課題
- 京都における老舗企業の革新性
- 顧客の特徴と購買行動の分析

Column

経営学部生の主体的な取り組みを紹介します。

飲料マーケティングプロジェクト



イオンウォーターの認知度向上を目指す大塚製薬と企業連携型プロジェクトを模索していた学生との目的が合致し、実現したプロジェクト。学生たちは認知度向上を図るため、「商品イメージの自分ごと化」をテーマとしてイベント内容を考えた。ホワイトボードにびっしりと書き込んだ案のなかから選んだのは、商品ポスターに使用するキャッチコピーの募集。シンプルなキャッチコピーを掲載することで、商品イメージを明確にする狙いだ。実施時期についても、学内での事前実施と、集客力の高いオープンキャンパスを選ぶことで、在学生だけでなく、高校生や保護者もターゲットに加え、幅広い層への認知度向上を目指した。メンバーは「企業の方と関わる貴重な体験を通し、マネジメント能力の重要性を学んだ」という。目標値である500以上のキャッチコピーを集め、イベントは盛況の末、幕を閉じた。



長期自己応募インターンシップ



大学のロジスティクスという講義で物流業界に興味を持った田口奈生子さん(経営学科3年生)が、インターンシップ(職業体験)先を選出したのは物流会社。それも大学の先生を通じて物流会社の社長さんに直談判して受け入れてもらうことに。インターンシップ先で待っていたのはすばらしい体験だった。営業部長さんの抱持ちとして、商談、取引先への訪問、食事会への同席、遠方の納品現場を経験。さらに倉庫内作業や梱包作業も体験した。そこで学んだことは「物流」よりも「リーダーシップ」だったという。物流の仕事を支えるパートさん達との信頼関係がないと会社は動かない。多くの人の協力をつなぐリーダーのプロ意識に大きな影響を受けた田口さんは、社会の見方そのものが変わったという。これは片道2時間を一ヶ月以上通い続けたからこそ気がつくことができた学びだったと振り返っている。



京都外国人観光客調査プロジェクト



鉄塚ゼミのメンバーたちは、日本学生経済ゼミナール関西大会に出場を予定していたが、研究がまとまらないまま大会一カ月前を迎えていた。そのときメンバーの一人が「外国人に人気の日本の観光スポット2014」ランキングで、龍谷大学から徒歩数分の伏見稲荷大社が1位になっていることを知る。「この伏見稲荷大社で外国人観光客の実態調査をしたらオリジナリティが出るに違いない」。7名のチームメンバーは、毎日ミーティングを積み重ねて日本語・英語・中国語の質問票を作成し、突撃でインタビュー調査を実施することになる。最初は尻込みして誰にも話しかけられない日もあった。しかし、驚くほどフレンドリーな観光客に助けられて、調査を完了。「非常に新鮮な体験で、かつやり遂げたことで自信になった」。15カ国にわたる観光客の実態をまとめた研究結果は大会で高く評価され、優勝を勝ち取った。



教員紹介

多彩な教授陣が学修を支援します。

①主な担当科目・分野 ②研究テーマ

※詳細は「龍谷大学Webシラバス」や「龍谷大学研究者データベース」で見ることができます。

秋庭 太

①地域企業論

②地域企業、ネットワーク、産業集積、オープン環境での協働

井手 健二

①国際会計論

②統計的手法を使った財務業績情報と株価（企業価値）との関連について

今村 潔

①Writing

②19世紀のイギリス文学、特に色彩表現

岩田 浩

①経営意思決定論

②経営者の意思決定に関する理論研究ならびに経営倫理学

大西 謙

①情報産業論、経営革新論

②企業の経営革新を「経営品質」の視点から考察する

梶脇 裕二

①経営学基礎論

②経営学史

加藤 正浩

①会計監査論 ほか会計学科目

②財務諸表監査の制度（主にイギリス）と監査人の倫理

角岡 賢一

①英語

②選択体系機能言語学による節首調の意味・機能分析

木下 徹弘

①アジア企業経営論

②企業の財務諸表データを用いた企業行動、業界構造の分析

國重 裕

①ドイツ語

②人文学、文学、ヨーロッパ文学（英文学を除く）

國松 豊

①人類学のすすめ、人類進化学

②アフリカやアジアの霊長類の古生物学や形態学

鍬塚 賢太郎

①地理学のすすめ、経営立地論

②経済地理学、現代インド地域研究

小池 俊隆

①プログラミングおよび実習B

②経営におけるコンピュータ活用、経営学部の情報処理教育

小長谷 大介

①自然科学史

②現代物理学における科学・技術・社会の動向の分析

坂本 雅則

①企業統治論、経営管理論

②企業内権力関係・批判的実在論の経営戦略領域への応用可能性

重本 直利

①経営組織論

②社会経営学方法論の確立のための経営学説及び現代経営研究

嶋林 昭治

①英語

②学生の批判的思考力を高める英語指導・ライティングを中心に

鈴木 学

①連結会計論

②連結会計、会社法会計

竹内 綱史

①宗教学入門、宗教と文化

②宗教哲学

妻木 進吾

①人権論・社会調査法

②社会的に排除された人々の析出と固定化に関する実証的研究

寺島 和夫

①経営と情報、経営情報活用論

②小売業の顧客満足および経営情報教育に関する実証的研究

夏目 啓二

①国際経営戦略論

②日米・アジアのICT企業の研究開発力に関する国際比較

西岡 久充

①意思決定の科学

②ICT（情報通信技術）による人・組織の変化に関する研究

西川 清之

①人的資源管理論

②人的資源管理論の日米比較。グローバル経済下の雇用と育成

西川 浩司

①国際比較経営史

②イノベーション活動の歴史的研究

野間 圭介

①経営情報システム論

②情報通信技術を経営管理、経営意思決定へ活用する

長谷川 岳史

①仏教の思想

②同時代的視点からみた中国仏教思想史の構築

長谷川 裕

①スポーツトレーニングの原理

②パフォーマンス規定要因の分析とトレーニング方法の開発

濱田 崇嘉

①キャッシュフロー会計論

②業績報告、財務会計の概念フレームワーク

林 尚毅

①国際経営論

②多国籍企業のタックスハイブ利用における影響

廣瀬 純

①フランス語

②映画、ヨーロッパ思想、ラテンアメリカ社会

藤岡 章子

①マーケティング論

②顧客組織化行動、リレーションシップ・マーケティング

藤木 潤司

①財務会計論

②金融商品会計、固定資産会計、資本会計、財務諸表の表示方法

藤田 誠久

①経営史

②戦時期における日本電気機械工業経営史

細川 孝

①株式会社論

②企業理論の現代的統合、現代医薬品企業の研究、大学評価論

ホワイト ショーン

①Oral Communication

②外国語教育、異文化理解

増田 靖彦

①フランス語

②フランスを中心としたヨーロッパの哲学・思想・文化

松永 敬子

①スポーツマネジメント論

②地域スポーツのマネジメント、地域協働システムの構築

三谷 進

①現代金融論

②アメリカの金融市場と投資信託の歴史的・構造的分析

守屋 晴雄

①商品学

②現代商品の多角的分析

山下 章夫

①経営数学

②社会科学の研究や教育におけるMaximaの応用

李 洙任

①英語

②外国人労働者、ダイバーシティ・マネジメント

Topics

教養・学部共通コース科目担当教員の紹介

教養科目や学部共通コース科目を担当している教員を紹介します。

教養科目

主な担当講義

ドイツ語／西洋の文学

國重 裕 准教授



異文化を肌で感じるために、 必要な語学力と教養を。

ベトナムのアオザイなど世界中の民族衣装で教壇に立ち、学生を驚かせる國重先生。「衣装の特徴と、その文化圏に暮らす人びとの生活を紹介することで、学生たちが外国に興味を持つきっかけになればと考えました」。先生が担当する「ドイツ語」では、単なる語学の学修にとどまらず、ドイツ人の物の考え方、価値観の説明にも重点を置いています。「20歳の頃から世界中を旅しています。帰国したあと印象に残るのは観光名所より、親切にしてもらった思い出や旅先で出会った笑顔。片言でも現地の言葉でやりとりする。様々な文化圏の人と触れあう楽しさを伝えたい」と先生は語ります。また、2015年後期にはじまる授業「西洋の文学」では、トーマス・マンやヘッセ等を題材に、小説家や哲学者がナチス政権誕生まで、ドイツの政治とどう対峙してきたかを考察。時代と格闘する姿を通して、現在を生きる学生の一人一人が、自分がいかに生きるべきか問いかける題材を提供します。「自分のことを本当に知るためには、自分の知らない世界へ飛び出し、体験することが欠かせません」。國重先生は、自らの授業がそのきっかけとなることを願っています。

主な担当講義

地理学のすすめ

鍬塚 賢太郎 准教授



地理学の視点から、 ヒト・モノ・コトを考える。

地理学は、地表で起きているさまざまなことを「地域・環境・空間」等の観点に基づいて解明しようとする学問。鍬塚先生によれば「高校までの地理は『何がどこにあるのか』を知る勉強でしたが、大学では地理学の視点から人間の諸活動について考えます」とのこと。現代社会では鉄道や飛行機等で物理的な空間移動の時間が短くなり、テレビやインターネットの発達で今まで知らなかった地域の文化も知ることができます。こうした世の中でいったいどこまでを地域といい、どこまでの広がりや自分の環境ととらえるか等、地理学の視点から世界を多角的にとらえる思考はとても大切です。「心のなかに地図を広げ、世の中の事象を分析してほしいですね。地理学を通してヒト・モノ・コトの見方を鍛えることは、大学での学修にも役立ちますよ」。

学部共通コース科目

主な担当講義

Oral Communication

ホワイト ショーン 准教授



実践的な英語を学び、 世界への扉を開こう！

来日して15年になるホワイト先生は、2010年から龍谷大学で英語の授業を担当。座学ではなく実際に海外の人々とコミュニケーションがとれる「生きた英語」を教えています。ビデオ会議システムを使った特別講義では、アメリカ・中国・ロシアの学生たちと英語でディスカッションしたり、一緒に発表したりするため、日本にしながらグローバルな環境で英語力を鍛えることができます。「これをきっかけに、学生たちには短期間でもいいからぜひ本物の留学を経験してほしいですね。龍谷大学では留学のサポートが充実していますので上手に活用するといいですよ」と、ホワイト先生。先生の授業を通して、海外の人々と触れ合う楽しさを見つけてください。

主な担当講義

環境史

小長谷 大介 准教授



最新の科学技術に対する リテラシーを養う。

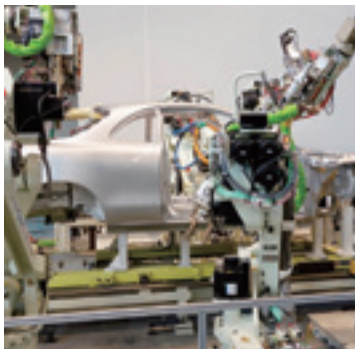
「社会科学系学問を学ぶにあたって自然科学の知識を得ることは重要」と語るのは小長谷先生。そんな先生が担当する「環境史」の授業では、古代から現代に至る人間社会と環境の関係を学びますが、2011年の福島第一原発事故以降は「原子力」が大きなテーマとなっています。「かつて原子力は、「未来のエネルギー」として大きな期待を集めました。それがスリーマイル島やチェルノブイリの事故を経て、社会からの評価も大きく変わっていきます」。そして今回、日本で起こった原発事故。「さまざまな意見が飛び交うなか、先入観やイデオロギーを超えて原子力にどう対峙するのかがこの授業のポイント。科学技術に関するリテラシーを育み、新しい技術との向き合い方を模索することが大切です」。先生の授業から、専門性を超え、科学に対して“自分で考える”力を養ってください。

Topics

経営学部独自の科目を紹介します。

現場で学ぶ — プログラム科目 —

企業経営においては、それぞれの企業が創意工夫を繰り返しながら日々利益を生み出そうと努力しています。経営コースの3つの履修モデルに配置されているプログラム科目では、実際の企業経営の最前線を体験し、現地で研究テーマを見つけることをねらいにしています。



ものづくりの現場

現場学修を通して経営学を学ぶ

高品質の製品をつくり出す企業に着目し、そこで行われている生産管理手法等を学びます。「ものづくりがどのように進化してきたか?」についての事前学修をしたうえで、工場や研究開発の現場に触れます。「ものづくりの現場」を通して知識を定着させ、応用できるようになることを目指します。

ものづくりの現場を実際に自分の目で見たいと考え、受講しました。高品質の製品をつくり出す企業の生産管理手法を学ぶため、愛知県のトヨタ工場を見学しました。トヨタの歴史、環境問題への取り組み等のお話を聴き、そこに働く人々や経営者の熱意を感じることができました。現場学修を通じて、経営を学ぶことができる貴重な機会だと思えます。



中 智世さん
経営学科 3 年生
(京都市立日吉ヶ丘高校 出身)



地域と企業

京都と他の地域における、地域産業の比較研究

各地域を訪問し、学生自らが「地域」の違いを肌で感じ、研修内容を考察します。企業を経営する際に、企業が所在する「地域」が、いかに重要な経営資源であるのか、また企業はそれをどのように活用しているのか等を、総合的に学修します。

企業経営を勉強していますが、授業で学ぶ企業の多くは大企業です。このプログラム科目は、京都の企業や中小企業に焦点を当て、実際の現場を訪ねて経営学を学べるのが魅力です。わたしは「六次産業化」を研究テーマに調査をすすめましたが、現場でしか聴けない生の声に触れることができました。地域と企業の強い結び付きも良く理解できました。



岸田 大輝さん
経営学科 3 年生
(滋賀県立玉川高校 出身)



現代中国のビジネス

中国の大学生とのディスカッション、現場企業視察

夏休みを利用して中国・大連に行き、企業経営にまつわる日中の制度を比較し考察します。現地研修では大連外国語大学の学生とともにプレゼンテーションやディスカッションを行います。また、日系企業の現地法人や中国系企業の訪問、ヒアリングを行い、日本企業が中国でどのような経営をしているのかを学修します。

カナダに1年間留学した経験から、「百聞は一見に如かず」ということを実感し、現代中国のビジネスの現実を体感したいと考えて受講しました。中国企業を訪問、視察して、中国の学生たちとプレゼンテーションやディスカッションの機会を持ちました。日本と中国のビジネス上のさまざまな違いを学びましたが、中国の学生たちの勤勉さを見習いたいと思いました。



櫻井 翔太さん
経営学科 4 年生
(京都府 京都学園高校 出身)



起業論

起業のノウハウを学び、ビジネスプランを立案

ビジネスの現場で活躍する方をゲストスピーカーとして招き、企業の成長戦略を学ぶとともに、学生たちが販路拡大やマーケティング戦略、新たな事業戦略等を考察します。そして、それらを提案することを通じて、学生が起業のプロセスや、新規事業立ち上げに関する知識の修得を目指します。

すべての企業には「起業」の歴史があります。そのプロセスに興味を持ち、受講しました。ベンチャー企業のケースを通じて企業戦略の基本理論を学び、グループで実際にビジネスプランを練り上げて、それを学外審査員の前で発表しました。起業家の講演から社会的な課題を解決したいという思いを持って、企業を興していることが理解できました。



川北 裕也さん
経営学科 3 年生
(京都府立東稜高校 出身)

活躍する卒業生

株式会社 フェリシモ 勤務
 鵜鷹 洵さん
 経営学科 2011年卒業
 (兵庫県 姫路市立姫路高校 出身)



マーケティングの幅広い学びが、コミュニケーションの仕事につながった。

大学時代はマーケティング分野のゼミで、顧客の二次創作やソーシャルメディアを通じたコミュニケーションの伝播等、多岐にわたる研究をしました。また、実際に京都の企業と産学連携で企業のブランド価値を高めるためにどうすべきかを考え、事業提案する機会もいただきました。京都の大学ネットワークを利用したインターンシップでは、現在の仕事につながるお客様視点での物事の考え方や仕事のすすめ方等、社会人としての基礎を学ぶことができました。勤務先はダイレクトマーケティングを行う会社ですが、人と人のつながりが実感でき、大学での研究テーマでもあったコミュニケーションの伝播を創り出せる仕事だと感じたので志望しました。現在はCS部に所属し、コミュニケーションを企画する仕事に携わっています。どのようにコミュニケーションをすれば会社や商品のファンになってもらえるのかを考え、日々仕事に取り組んでいます。お客様に関する社会の動き、会社の動きがリアルに実感できる部署ですので、やりがいと楽しさを感じながら働いています。

内定者 VOICE

内定先 三菱食品株式会社



狭間 智康さん
 経営学科 4年生
 (大阪府 上宮高校 出身)

マーケティングの知識を活かし、新しい食を提案してみたい。

学部では簿記や会計の基礎、マーケティング等について学びました。インターンシップではホテルと商社で働きましたが、その経験を就職活動に活かすことができました。内定先の志望理由は、食の中間流通業トップとして他社にはないさまざまな取り組みを通じて新しいものを生み出している点と、就職活動を通じて接した先輩社員の温かい人間性でした。マーケティングの知識を活かし、会社のキーパーソンとして、新しい食の提案ができるようになりたいと思っています。

内定先 京都市役所



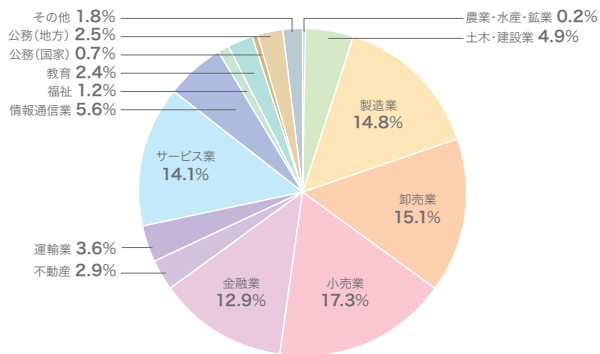
伊吹 紗緒理さん
 経営学科 4年生
 (京都府立城南斐創高校 出身)

ボランティアがきっかけで、公務員を志望しました。

学部では国際関係のゼミに所属していましたが、公務員志望でしたので、授業は公務員試験に役立つ科目を選択して、履修しました。公務員を志望したのは、プレイパークというボランティア活動に参加したのがきっかけです。子どもたちや地域の人々と交流するなかで、地域活動に興味を持ち、京都市職員となって自分が育った京都をより良くしたいと考えるようになりました。筆記試験対策として、キャリアセンター主催の公務員講座を受講し、とても役立ちました。

就職状況 (2014年度卒業生)

経営学科



経営学部卒業生の主な就職先

- タキイ種苗株式会社
- 住友林業株式会社
- 積水ハウス株式会社
- テーブルマーク株式会社
- セーレン株式会社
- グンゼ株式会社
- 株式会社ツムラ
- 持田製薬株式会社
- 旭化成ファーマ株式会社
- YKKAP株式会社
- 株式会社ノーリツ
- 小松ウォール工業株式会社
- 京セラメディカル株式会社
- アイリスオーヤマ株式会社
- 阪急電鉄株式会社
- 西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)
- 国際航空株式会社
- 三菱食品株式会社
- 小泉成器株式会社
- 株式会社平和堂
- スターバックスコーヒージャパン株式会社
- 株式会社ニトリ
- 株式会社ゆうちょ銀行
- 株式会社伊予銀行
- 株式会社京都銀行
- 株式会社三井住友銀行
- 株式会社滋賀銀行
- 京都信用金庫
- 京都中央信用金庫
- 野村證券株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 株式会社マイナビ
- 株式会社カカココム
- 株式会社JTB西日本
- 近畿日本ツーリスト株式会社
- 日本郵便株式会社
- 国税専門官
- 京都市役所
- 京都府庁
- 大阪府警察
- 名古屋市役所 等

内定先 株式会社三井住友銀行



小松 育輔さん
経営学科 4年生
(京都市立城南菱創高校 出身)

お客様の人生にかかわって、自らすすんで課題を解決したい。

現代の企業経営や会計学の基礎、マーケティング等について学び、ゼミでは企業経営の歴史を主なテーマとしました。就職活動では学修で触れた注目業界にもエントリーしましたが、将来なりたい姿をじっくりと考えた結果、お客様の人生にかかわれる銀行の営業という仕事にたどり着きました。大学では興味のあることを自ら学び吸収する面白さを実感したので、社会に出てもお客様や社会に対して幅広くアンテナを張り、自らすすんで課題を解決していきたいと思っています。

内定先 ANA 関西空港株式会社



西田 彰子さん
経営学科 4年生
(大阪府立槻の木高校 出身)

在学中の経験で進路が明確に。語学力でキャリアアップを目指す。

2年生の春休みに参加したBIEプログラムの経験が英語コミュニケーションコースを選択するきっかけになりました。その後、留学生をサポートする活動等を通じて外国語や海外への興味が深まり、進路がだんだんと明確になってきました。内定先は、地元関西でお客様を第一に世界へと挑戦している企業です。語学力を活かして、海外からのお客様に親しみを感じていただけるグランドスタッフになり、キャリアアップを目指したいと思っています。

資格取得

ファイナンシャルプランナー

ファイナンシャルプランナーとは、収入や財産、負債、家族構成等の情報をもとに、住居・教育・老後等、個人のライフプランニングに即した資金計画やアドバイスを行う職業。略してFP（エフピー）とも呼ばれます。1～3級ファイナンシャル・プランニング技能士の国家資格検定試験があり、金融・保険・不動産等の就職活動にも役立ちます。

金融関係への就活に有利な国家資格です。

金融関係の仕事に就きたくて、ファイナンシャルプランナーの資格取得を目指しました。実家が自営業でもともと経営学に興味があったので経営学部に入学したのですが、ファイナンシャルプランナーを目指すことで、もっと経済や財務について詳しくなれると考えました。大学の授業で資格取得に役立ったのは所得税法です。所得に関する税法上のさまざまな知識が身につきました。1日1時間を資格取得のための勉強に充て、授業の復習をしっかりと行うことを常に心がけていました。金融関係の就職に役立つだけでなく、日常生活にも充分に活かせる資格なので、生活のなかでも役立てていきたいと考えています。ファイナンシャルプランナーを目指すなら、授業は絶対に休まず、いろんなところにアンテナを張って情報収集し、わからないところは先生に相談するのがいいと思います。



河貝 悠佑さん
経営学科4年生
(京都府立菟道高校出身)

図書館司書課程

図書館司書とは、図書館等で資料の選択・収集・整理・情報サービス等を行う専門職員のこと。資格を取得する必要があり、その業務に必要な知識を学ぶのが図書館司書課程です。生涯学習社会といわれる現代においては、特に利用者に対して質の高いサービスを提供でき、多様なニーズに対応できる人材が求められています。

根気とモチベーションを保ちながら履修しました。

自宅近くに市立図書館がある環境で育ち、幼いころから図書館を利用してきました。図書館はとても身近な存在であり、自然と図書館について学びたい、図書館司書になりたいと考えようになりました。学部も司書課程を受講できるところを選び、司書課程の生涯学習概論と児童サービス論、図書館制度・経営論を受講しています。どの講義も普段は気づかない図書館の機能について学ぶことができ、とても興味深い内容でした。特に生涯学習概論は、図書館のあり方や多様な利用者に対してどんなサービスを提供すべきか等について考える良い機会となりました。司書課程は随意科目なので、卒業に必要な授業を最短でも2年間履修する必要があります。試験やレポートのある授業もあって大変ですが、目的意識を持って根気とモチベーションを保ちながらがんばってください。



森分 寿哉さん
経営学科3年生
(大阪府 上宮高校出身)

動画・写真配信サイトで経営学部の今を知ろう。

経営学部での日々の学びや行事等が動画や写真で配信されています。詳しくは、下記のURLもしくは二次元コードからサイトをご覧ください。

<http://www.biz.ryukoku.ac.jp/pc/blog/channel>



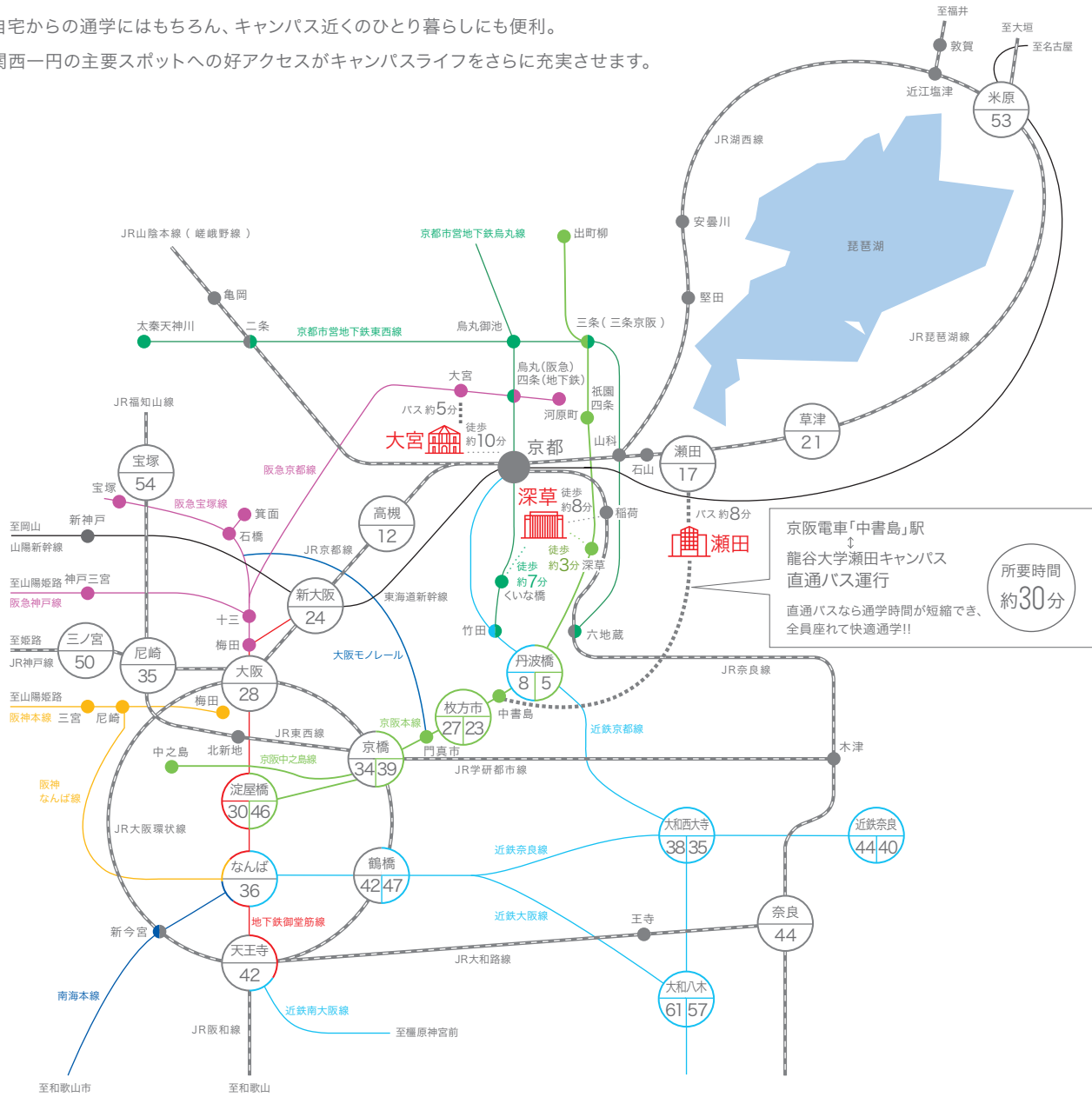
Access Guide

京都・滋賀3つのキャンパスは関西一円から好アクセス。

京都・滋賀の3拠点にあるキャンパスは、大阪・奈良・神戸からも抜群のアクセス環境が魅力です。

自宅からの通学にはもちろん、キャンパス近くのひとり暮らしにも便利。

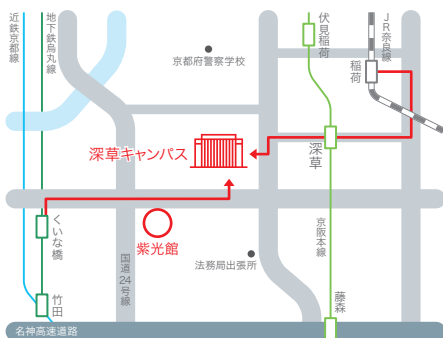
関西一円の主要スポットへの好アクセスがキャンパスライフをさらに充実させます。



京阪電車「中書島」駅
↓
龍谷大学瀬田キャンパス
直通バス運行
直通バスなら通学時間が短縮でき、
全員座れて快適通学!!

所要時間
約30分

深草キャンパス (京都市)



- JR奈良線「福荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分

- JR線
- JR新幹線
- 近畿日本鉄道
- 阪急電鉄
- 南海電鉄
- 京阪電鉄
- 京都市営地下鉄
- 大阪市営地下鉄御堂筋線
- 阪神電鉄
- バス

○ 駅名
—— JR「京都」駅までの乗車時間(分)

○ 駅名
—— 京阪「深草」駅までの乗車時間(分)
—— JR「京都」駅までの乗車時間(分)

駅名に付記した時間は、JR「京都」駅、京阪「深草」駅までの最短乗車時間のめやすを記しております。
乗り換え等にかかる時間は含んでいません。
また、時間帯によって変わることがありますのでご注意ください。

www.biz.ryukoku.ac.jp



龍谷大学 経営学部
RYUKOKU UNIVERSITY

深草キャンパス 京都市伏見区深草塚本町67
Tel 075-645-7895 Fax 075-643-9901
webmaster@biz.ryukoku.ac.jp